

泌尿器シリーズ③

今回は、高知大学医学部の泌尿器科学講座 蘆田真吾先生あしたまごによる「前立腺がん」について掲載します。

前立腺がんでどんな病気？

前立腺とは、膀胱の下に位置するクルミ大の臓器で、男性ホルモンにより維持調節されています。そのはたらきは、精子に栄養を与えたり精子の運動を助ける前立腺液を分泌することです。そして、その前立腺にできるがんが前立腺がんです。

前立腺がんは、日本でも年々増加しており、その罹患数は、2015年のがん統計予測では98400人と推定され、ついに男性のがん第1位になりました。増加の原因は、社会の高齢化、生活の欧米化、そして診断法の進歩、すなわちPSA検査の普及です。また、家族歴も重要で、家族に前立腺がん患者がいる場合は前立腺がんになる危険性が高くなります。前立腺がんは、早期は無症状ですが、進行すると前立腺肥大症と

同じような症状が出現し、さらに進行すると転移をして腰痛や四肢に痛みが出てきます。

どんな検査があるの？

PSA(前立腺特異抗原)は、前立腺がんの腫瘍マーカーで、血液検査で簡単に測定することができます。前立腺がんの早期発見に非常に役立ちます。しかしながら、日本はまだまだPSA検診率が低く、そのため、未だに進行がんで見つかる人が3〜4割ほどいます。最近では、PSAが高い人には、まずMRIを行います。確定診断には生検が必要ですが、生検※が必要ながんがあるかどうかをMRIで判断することができません。その際、より精度の高いMRIを用いることで診断能力が上がります。

※病気の疑いある部分を取って、顕微鏡などで調べる検査

どんな治療をするの？

治療は、手術、放射線療法、ホルモン療法が3本柱になりますが、根治が期待できるのは手術か放射線療法です。

手術は、設備が備わっている施設では、通常、ロボット支援手術

が行われます(高知大学病院に最新式の手術用ロボットが導入されました)。ロボット支援手術とは、術者が直接患者さんに触れることなく、ロボットを遠隔操作して行う手術です。

放射線療法には、外照射と内照射があります。内照射とは、体の中から放射線をあてて、がん細胞を死滅させる治療法です。ホルモン療法は、通常、転移のあるがんに対して用いられます。

前立腺がんは、早期に見つかるのと治る病気です。早期発見、早期治療のためにPSA検診をお勧めします。

◆特定健康診査受診時に行うPSA検査の無料実施について

現在、県では前立腺がんについて県民のみなさんにもっと関心を持ってもらうため、罹患者数が増加し始める55歳の年齢の方を対象にPSA検査を無料実施しています。

対象者(以下の要件の①②③または①②④を満たす方)

- ① 高知県内に住所を有し、平成29年4月1日〜平成30年1月31日までにPSA検査を受検できる方。

- ② 特定健康診査を受診する男性。
- ③ 平成28年度中に55歳となった方で(昭和36年4月2日〜昭和37年4月1日生)、当該事業を利用の方。
- ④ 平成29年度中に55歳となる方(昭和37年4月2日〜昭和38年4月1日生)

対象期間 平成30年1月31日まで  
検査実施者 高知県から委託を受けた医療機関(町内は、大方クリニック・佐賀診療所・拳ノ川診療所で実施)

検査費用 無料

持参品 氏名・住所・年齢を確認できる書類(健康保険証・運転免許証・特定健康診査券など)

検査結果 検査後、郵送にてお知らせします。

特定健康診査と合わせてぜひご利用ください。  
お問い合わせ  
本庁健康福祉課 保健衛生係

佐賀支所地域住民課保健センター  
☎ 43-2836  
☎ 55-7373

